

041028 大学ポートレートステークホルダーボード報告資料 学校教育目標「一段高い進路希望の実現」に資する大学ポートレート

全国高等学校長協会大学入試対策委員長
東京都立豊島高等学校長
大山 敏

1 東京都立高等学校での進路決定上の課題

- 東京圏の国公立大学は難関校が多い 東大、一橋大、東工大、お茶大、筑波大、医科歯科大
- 都立高校で日比谷、西、戸山などの進学指導重点校以外は、難関私立大学を頂点とした私大志望者が多くを占める
- 入学後早くから文理選択を行うカリキュラム編成が多くなる
- 加えて、現在の高校生は自分から大学調べに積極的ではない 教員任せ・親任せ
- このままだと大学調べのためのツールが高校生や教員に活用されない

2 本校での大学ポートレートの活用

- 5年前赴任したときの最大の課題は「進路選択の消極性」
- 中学校の調査書オール4で入学する生徒が本校卒業時には私立中位・下位大学に進学
- 学校教育目標を「一段高い進路希望の実現」「主体性の発揮」に改善
- 東京圏の国公立大学だけでなく、地方の国公立大学進学に目を向けさせる取組を開始
- まず教員全員にスマホや支給端末で大学ポートレートを活用する体制を構築
 - 教員が全国の国公立大学について知らなければ生徒や保護者に進めることはできない
 - 赴任3年目からは大学ポートレート(国公立版) Twitterの活用も生徒・保護者に推奨
 - 3年生全員の二者面談や三者面談時に端末で大学ポートレートを示しながら、進学先について具体的に話し合えるよう配慮
 - 加えて、地方ごとにまとめられた各大学のTwitterアカウントも活用
- 進路指導室に生徒用の端末を常備し、デスクトップにある大学ポートレートを經由して各大学について調べられるシステムを構築
 - LHRで学年集会を開き、大学ポートレートの紹介と使い方について学年進路担当が説明
 - 「大学ニュース」の確認や、オンラインキャンパスツアーやオンライン説明会への参加、各大学の取組紹介動画などを視聴
 - 地方国公立大学も含め国公立大学進学者が3、4名から昨年度は浪人含め20名に躍進 宇都宮大学、静岡大学などの近県国立から福井県立大学、高知大学、弘前大学医学部、琉球大学、長崎大学、福島大学、北海道大学などに進学

3 大学ポートレートを利用した感想

- 進路を真面目に調べるためのツールなのだから当たり前だと思うけれども、レイアウトも文章もかなり固い印象。最初とつきにくかった(2年女子)
- 大学の評価が紹介されているのはよいが、結局何が評価されていて何が課題なのか、改善状況はどうなのかが分かりにくい、評価書そのままではなく大学ポートレートで要約して分かりやすく示してほしい(教員、3年保護者)
- 検索しやすい。「大学ニュース」を大学ごとに検索できるようにしてもらえるとありがたい。新着情報が大学別に提示されているが、大学ホームページを開くとどの情報が新着なのかがよく探せない(3年男子)
- 大学ポートレートで項目別にアクセスする文章や大学ホームページの部分が明確になっているので、直接大学ホームページにアクセスして必要な情報を探すより探しやすい。しかし、大学によって記述内容やホームページとのバランスががたがたしている印象(3年女子)